[illegible]ればなるまい」と突込め[illegible]の[illegible]眼が煩さ[illegible]ら、今夜は唯長官の回答文[illegible]告するに止める積りです」といふ此の時

▲引切り無し に入口の硝子戸が開くのに一々氣を配るのは煩はしいといつた風で其都度取次の若者に『今晩の會合は其の筋から注意される様な性質なものではない最も愼重に本會としての今後の主義を決定するために眞劍な態度だといつて證し』と主催者らしいのが指令してゐる此界隈は中央區や中本町邊りとはスツかり閑然してゐるから几閑寂が薄氣味の悪い位だ

[illegible]は不關焉
[illegible]に就ては
[illegible]ら全部出動させる積だが[illegible]で完全に仕事は出來まい

[illegible]會に語る

[illegible]發して陸末の中に潜[illegible]である闘士の一間が事務室に[illegible]てられて職役が十人程控ねて[illegible]る此處では儀會式が思ひ通り[illegible]けられたといふので得意滿面[illegible]「ドウメ自分が救助を」と記者に[illegible]

▲嘲笑り方 を指さしな[illegible]く[illegible]の[illegible]を振る舞ふ[illegible]

[illegible]一人は語るこの私共の同志[illegible]に勞友會と違つて純粹の製鐵所職工によつて成る縱斷組織の[illegible]の運動は九州一圓に亘つた[illegible]組織にしやうといふ幹部の[illegible]に[illegible]今日の同答に就いては[illegible]同志會は[illegible]せず爲て尤も以前[illegible]なかつたによつて要求はしたのですが九日から全部出動させますが勞友會の職工が未だ妨害をやりませんから満足な仕事は到底出來ません」と演說會はかなり不穩な野次があつたものゝ九時半に無事閉會した際[illegible]になつて

▲憲兵警察官の
俄然工場内を警戒
同志會の從業を妨害の形勢あり

[illegible]

▲勞友會の 變裝幹部が

堪まらなくなつてか化の皮を引ん剝いで對抗演說をやらせよさ猛り立つたが遂に制突けられ歸して引揚た何でも勞友會は同志會を怨府視してゐるらしく演說會が解散のゴタ〳〵紛れに一騒動持上げようといふ腹らしかつたが奏功せなかつたのは同志會の大膽加減に大分面喰らつたらしかつた此處から引返つて春の町の勞友會本部を覗けば[illegible]の極に達した幹部二名が憔悴した体を投出すやうに横になつてゐる幹部も會員も悉く出拂つてゐて家の中に縱横に引ッ張つた[illegible]旗だけが眼に附く診察所の勞友會は更に集まつてゐる形勢がない製鐵所の東門棧橋の上には憲兵の歩哨の影三つが直立してゐる其一つの影は『未だ何時迄此の警備を續けるのか自分等さへ判りません七日より八日の夜が危險であるといふ流言蜚語が憲兵等の鋭氣を殺ぐこと夥しい工場内に警屯する在郷軍人等の女房達が夫の身の上に變事がありはしまいかさ

▲夜食抱へて衞門を

這入つてゆくのである當七日夜は百六十人の職工が工場にあつても僅かに十人しか作業してゐないので夜ふけの大工場はボンヤリと火がともつてゐるだけだ宵のうちは醉漢の喧嘩も二つ三つあつて一寸物騒だつたが十二時からの街上は電車の唸りと自動車の爆音と新聞記者の乗が三つ巴となつて殊更に降り[illegible]ゆく恐怖の夜の推移を忙がしく追つてゐた大長なら餘計な干涉だといはれて歸り八日午後一時から事務所で長官報告を兼て今後の態度を決するさ路上の要所に大々的の貼紙掲示をしてゐた友愛會幹部の行方は其夜は遂に判らずに終つた(八日午前三時八幡特派員)

に就き一致したる主義を唱へ是を實行するとの噂或一部の者の間に取沙汰されつゝありたるが果然七日夜十時より八幡市附近の某尼寺に秘密集會を開き各派より三名宛の代表委員を選出して協議の結果拘引者の家族救護及び目今の態度を一致要求するための宣傳書を印刷全職工に配布することゝし同時に九日全部出動し正午の休憩時間を利用して七十四工場の代表者が警察官憲の眼を避け密々の間に場内數ケ所に集合し一致的の行動を採るべく密議をなす由

▲事務官來幡
怠業狀態視察

警保局事務官天宅敬次氏は政府當局の命を受て七日夜來幡中山次長、安達檢事正、齋藤警部長等と會見し同地に數日間滯在其ら實況視察中なり

▲姫路岡山より
憲兵來援
五十三名來幡

警保局事務官の來幡に續いて東京憲兵隊司令官石光[illegible]依り姫路、岡山、久留米各憲兵合して五十三名[illegible]日來幡し直に[illegible]

●親泣せの伜

神奈川[illegible]治産[illegible]岩國町[illegible]長男政造(二九)は將來の放蕩者にて遊里に足を踏み込み金錢を浪費し兩親や親族の意見も耳に入れず益々増長し居りしが大正六年[illegible]に渡航する鐵貨入れ名義の下に父より金三千圓を送金せしめ忽ち大盡を極め込み錢一文も残らず其後下關某商店の店員に住込居る中父々怪しかるべき振る舞ありて五百圓餘を費消し父のお陰で辨償し貰ひ穩便に事濟みなりし事實ある程の放蕩者なるが爾來家庭に在住中相變らず料亭や貸席に於て夥からぬ浪費をなし舊臘廣島市の取引先に於て金[illegible]百圓を取出し其まゝ所在不明となりたる前後の行動は到底同家の資産を蕩盡し將來家督相續は危險ありとのことにて禁治産の申請に及びたるが來る十三日岩國區裁判所に於て審問開廷の筈

●惡例を貽すから
斷乎たる處置を取が宜い
製鐵所盟休事件に關し
東京砲兵工廠宮田提理は語る

東京砲兵工廠提理宮田太郎氏は横山大阪砲兵工廠提理と共に朝鮮平壤の兵器工廠を視察中なりしが八日朝關釜連絡船より當地上陸直に特急列車にて歸廠したるが八幡製鐵所の盟休事件に就て語る

八幡製鐵所における盟休事件の如き實に國家のため大不祥事といはざるを得ず併しながら斯かる事件は兎角誇大に報導されて一層人心を不安ならしむる傾向無きにしもあらず八幡の製鐵所事件が果して事實以上誇大に吹聽されつゝあるか否かは素より予の關知する處にあらざるが曾て東京砲兵工廠に同樣なる事件發生し五六十名の職工が

◎不穩の行動 ありし當時の如き各新聞に千五百名の職工が盟休せしが如く事態を誇大に報道されて非常に迷惑した[illegible]

あゝ北九州に於ては東洋製鐵始め幾多の大小工場ありてこの解決如何、重大の關係を有する勞働者側の主張にして貫徹されんか

◎同樣の事件 は自然大小の各工場にも波及すべく斯くては我國の工業は全滅の外なかるべしされば製鐵所としては此際單に同工場の將來のみならず近時非常の勢ひを以て勃興しつゝある一般我工業界のために斷乎たる處置を取り模範を示すの要ありと信ず平壤の兵器廠は目下新設中にして職工は僅かに數十名を使用し居れるに過ぎ